

ともぎづな

第19号

発行所

黒川まさる
政務調査事務所
TEL 045-781-9580

www.masaru-k.net

新しい自民党政権に対応した

横浜市の25年度予算の積極的な展開



昨年末の衆議院選挙では松本純候補、麻生元総理との金沢文庫西口での街頭遊説で司会を務めました。

また、自宅の開放や、NPO法人などによる家庭的な保育事業も前年度比3億円増と約1.5倍の予算が組まれ、各家庭のニーズに応じたきめの細かい保育政策が進められます。

事業所内保育や乳幼児一時預かり、幼稚園での預かり保育、地域の子育て支援施設の拡充など私が訴えてきた企業側の理解や家庭で子育てをしやすい環境づくりにおいても前年度比増の予算が組まれ、子育て会議の設置などにより幅広い子育て支援政策が展開されることとなります。



スポーツクラブのプールを改装して保育園になったケースもあります。

新たなはまっ子を はぐくむ教育

インターネットの時代だからこそ溢れる情報から真実を探索する能力を高めるため、図書館の活用方法を教えるべきと訴えてきました。来年度から学校司書の配置事業が予算化され、まずは1、25校、4年間で市内の全校に学校司書が配置されることになりました。

いじめや不登校対策、きめの細かい教育を充実させるために、児童支援選任教諭・スクールサポーター非常勤講師・教員アシスタントボランティア・スクールカウンセラー・理科支援員・栄養職員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど、学校長や教員だけでは解決できない課題に対して外部から学

子育て安心社会の 実現に向けて

待機児童の解消に向けた事業は、引き続き拡充政策が展開されます。新設の保育園が1ヶ所増える一方で、横浜保育室の認可保育所への移行、老朽化した保育園の改築など既存の施設を再活用する形でさらに定員増が見込まれます。

校に新しい風を吹き込める仕組みが拡充されることになりました。はいじめ対策や、生徒の減少によるクラブ活動の廃部対策などの個別案件に取り組んできた中で、学校外部の人材を活用する教育拡充政策は、教師のためではなく、子供たちのために1日も早く行われなければならないと痛感しています。かけた予算や人材がきちんと機能するように地域社会の協力も得て引き続き注視してまいります。

がん撲滅を目指して 健康づくりを支援

私がプロジェクトの座長を務める「がん撲滅推進基本条例」制定に向けて続けてきた勉強会も横浜市の医療政策に影響を与え、がん対策は3億円近い予算増となりました。がん検診の推進による、がん予防・早期発見・早期治療・早期社会復帰は健康福祉局の目玉政策のひとつに位置づけられています。

100万人の健康づくり戦略は前年比4倍近い予算がつき、具体的に壮年期の市民が「歩く」ムーブメントを起こすプロモーションを実施することになりました。毎年応援してきた「リレーフォーライフ」なども連携できることがないかと期待しています。

大震災や津波から 市民を守る

市民が日常的に利用する区役所は大震災などの際には対策本部機能も果たさねばならず、震災で倒壊するようないことは必要ではありません。金沢・南・港南の区役所は8億円の予算で再整備に向けて実施設計や本体工事がスタートし、西・緑・中区役所では耐震補強工事が行われます。

市立学校の体育館・市営住宅・橋梁・歩道橋・公園施設・横浜市八景キャンパス・保育所・町内会館などの耐震工事にも速やかに取り組みます。

津波対策に関しても引き続き情報掲示板や海抜表示に取り組みとともに、金沢区野島町と柳町に津波避難タワーの設置を検討します。木造住宅やマンションの耐震診断・改修への補助も前年比大幅増の予算となりました。金沢区でも寺前・町屋・洲崎・六浦の一部など古くからの住宅密集地では倒壊の恐れのある木造住宅も多く、狭あい道路対策も含めて取り組むべきと日頃から訴えてきましたが成果が結果としてきたと捉えています。

高齢者介護の 新しい流れを支援

日常生活の圏内で介護サービスが受けられる小規模多機能型居宅介護事業所や複合型サービス事業所の整備予算も1.5倍増となり、合わせて24ヶ所が新たに整備されます。在宅で介護を行う家庭に対して24時間体制で訪問介護・看護を提供する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」事業所を新たに4ヶ所整備し、9ヶ所の開設準備経費補助を行います。自宅近くで介護サービスを受けたり、在宅で安心して介護や看護を受けたい方やご家族に対する負担が軽減でき、医療費の削減にも繋がる政策を推進します。

介護ヘルパーの資格取得費用の補助や福祉人材のマッチング事業、介護の職場体験など福祉人材の育成や就業支援も予算が増額され、人材不足の解消を目指します。

ふくしまキッズの子供たちが 野島の青少年研修センター で冬休みを過ごしました。

昨年12月8日、野島青少年研修センターで冬休みを過ごしました。子供たちは、お手伝いしながら、お母さんやお父さん、お兄さんやお姉さん、お友達と一緒に、お楽しみ会を行いました。お楽しみ会では、お母さんやお父さん、お兄さんやお姉さん、お友達と一緒に、お楽しみ会を行いました。



グループミーティングのテーマは「あなたがしあわせを感じる時、真剣に議論していました。」

多くの人が、この事業は毎年行われていて、企業から寄付も減っています。私たちがこれらも福島の子どもたちを支援するために協力していきたいです。

新しく生まれ変わる 金沢区の風景

金沢八景東口地区の土地区画整理事業は来年度7.5億円の予算がついて引き続き事業が進められます。新しい町並みが少しでもイメージ出来るようになれば民間の投資も進んでいきます。地域の人々や利用者のみなさんの理解を深め、横浜南部の玄関口にふさわしいまちづくりのために努力いたします。

昨年国の財務省からの移管の枠組みが決定した、旧小柴貯油施設跡地は「公園基本計画」の策定の検討予算がつき、いよいよ具体的に市民がどのように活用できるようになるのかが見えてきます。南部市場についても都市計画の変更手続きの準備や中卸業者の計画策定支援が市場再編・機能強化事業として予算化されています。それぞれに地元のみなさんの意向も踏まえた計画になるよう金沢区選出の議員として言いつべきことはきちんと言います。



世界遺産にふさわしい まちづくりを目指す

称名寺と朝比奈切り通しを含めた「武家の古都鎌倉」の世界遺産登録も6月ごろまでにはユネスコから結果が発表されます。来年度は文化観光局・環境創造局・教育委員会などで合計5千6百万円の予算が組まれ、副市長直轄で、各区局横断プロジェクトを編成し、総合的に魅力の向上や周辺整備、来訪者対応などの取り組みが実施されます。私は世界遺産の登録を横浜市民として誇らしく思っておりますが、世界遺産の登録にあたり、やはり地元の皆様のご理解やご協力が何よりも大切だと思っております。

周辺地域の皆様の理解を深めて、地域に愛される世界遺産となるよう行政にはキメの細かい対話と対応をこれからも求めてまいります。



横浜の魅力を高めて 人々が集う街に

一昨年のAPPECCや5月に開催されるアフリカ開発会議など、国際会議の開催は、国際都市横浜の存在感を高め、世界的な知名度を高めることにも繋がり、横浜の都市としての発展や経済成長や人材の集積にも寄与します。観光・創造都市・国際戦略特別委員会の委員長として調査研究を進めてきた中、国際的なビッグイベントの実施、18区や神奈川県内の観光資源の開発や連携、市内の観光資源の再発見や再整備など、民間資本・市民力・既存の文化遺産の活用や規制緩和が求められています。誘客施設や新たな国際会議の誘致や集客イベントの実施、国内外への観光プロモーションなどに予算が計上されていますが、まさに選択と集中で横浜の都市としての魅力を高めていく必要があります。

都市基盤の整備と 適切な維持管理計画

環状北・北西・南線といった高速道路網や都市計画道路の早期整備、相模鉄道の東急東横線への乗り入れ、港湾設備や施設の拡充など、横浜の都市基盤の整備は、国の活力アップと直結します。道路や橋梁などの都市インフラは誰もが安心して利用できなければなりません。トンネルの天井崩落や道路の陥没事故などが起こらぬよう維持管理も計画的に進めてまいります。2年度の補正と25年度予算では国の緊急経済対策や「地域の元気臨時交付金」など、国からの予算を最大限に活用して、様々な都市整備や老朽化対策・防災減災対策など357億円が計上されています。今後さらに国の動向を注視しながら将来への投資にも積極的に取り組んでまいります。

ついに悲願実現か・・・ 横浜マラソンが 42.195kmになる？

市民参加型フルマラソン大会の開催に向けた調査・検討予算として3500万円が計上されました。



今から12年前、私は横浜青年会議所でモデルコースを作り、ニューヨークシティマラソンやロンドンマラソンのような都市型市民マラソンのフルマラソン大会の開催を日本で初めて横浜で開催しようとする青年会議所の仲間たちとともに調査・研究し、シンポジウムを開いて提言をしました。当時は長時間にわたって公道を封鎖することになる市民ランナーのフルマラソン大会など荒唐無稽だと、あまり注目されませんでした。その後東京マラソンが大成を収めると、大阪・神戸・京都・千葉など多くの都市で都市型の市民フルマラソン大会が開催されています。

適切な対応で 中小企業を守り抜く

中小企業支援策は、自民党の経済政策の中でも重要な位置づけだと聞いています。横浜市も中小企業振興基本条例を背景に骨太の中小企業支援策を実行していきます。特に金融円滑化法の終了以降の金融政策は、国の動向にもらみながら適切に対応をして中小企業への資金援助が途切れないように対応していくように求めてまいります。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
ここまで横浜市の平成25年度予算案の注目ポイントを記載してまいりましたが、この予算案は2月から始まる横浜市第1回定例議会でも慎重に審議され、可決されなければ執行できません。各局別に予算研究会を会派で行い、予算特別委員会でも各局ごとに連口質疑を行い、本会議での質疑や総合審査を経て最終的に3月末に採決が行われることとなります。私自身もしっかり質疑を行い横浜市の25年度予算に魂を注入してまいります。

議員になってからもしつこく提案をし続け、横浜マラソンにもハーフ・10キロなどに毎年挑戦してアピールを続けてきましたが、来年度予算について調査・検討予算がつくことになりました。開催が決定したわけではありませんが、大きな前進です。引き続き実現に向けて運動を続けてまいります。

市民に開かれた、わかりやすい政治を目指す、黒川まさるに対する期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。

返信FAX 045-786-4310

.....

.....

.....

お名前

ご連絡先

ご連絡いただいた方にはお返事をさせていただきます
(住所・メールアドレス・FAX番号・何でも結構です)